



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルゴグラフィックス

コード番号 7595 URL <http://www.argo-graph.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長執行役員

(氏名) 藤澤 義彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 伊藤 俊彦

TEL 03-5641-2018

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,655	12.7	1,010	15.9	1,133	19.4	718	28.8
24年3月期第2四半期	13,894	6.7	872	84.1	949	71.0	557	105.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 734百万円 (8.0%) 24年3月期第2四半期 679百万円 (225.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	72.16	72.13
24年3月期第2四半期	56.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	23,616	15,531	60.3	1,430.00
24年3月期	23,138	15,303	60.4	1,405.07

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,234百万円 24年3月期 13,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	50.00	50.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	29,800	3.1	1,930	8.6	2,120	6.2	1,260	200.8	126.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	10,454,100 株	24年3月期	10,454,100 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	500,250 株	24年3月期	500,250 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,953,850 株	24年3月期2Q	9,953,850 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結会計期間	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調を維持したものの、欧州の債務危機の問題や新興国経済への減速懸念、さらには長期化する円高の影響や国家間の領土問題が自動車産業をはじめとする産業界全体に新たな問題を突きつけるなど、先行きに対する不透明感を更に深めることとなりました。

このような環境の中、当社グループはP L M分野におきましては、上流の設計工程から下流の金型・加工工程に至るまで、「ものづくり」の全工程を支援する体制を更に充実させるため、従来のC A T I A販売に加え、P D M（プロダクトデータマネジメント）を核とした商品ラインアップの確立に注力いたしました。近年製造業においては製造工程の効率化や期間の短縮化を目指し、P D Mによる業務全体のプロセス管理への要求を強めていますが、当社グループではこうしたニーズに応えるため、データの解析支援を専門に行う子会社を通じたサービス提供や、P D Mを中心とした部品表（B O M）の構築支援などを強化し、他社との差別化を図りながら営業活動を展開いたしました。

インフラ構築ビジネスでは、仮想化・統合化に対応したサーバー及びストレージ販売ばかりでなく、東日本大震災後注目されているB C P（災害などが発生した場合においても事業活動が中断されることなく継続を可能にするための計画）として、ディザスタリカバリシステム（二重化システム）の導入提案活動にも注力いたしました。

またH P C（スーパーコンピューターに代表されるハイパフォーマンスコンピューティング）分野におきましては、大学、官公庁あるいは民間の研究所などを中心に当社が独占的販売権を持つジョブスケジューラー（商品名「Share Task」、コンピューターに投入されたジョブやジョブに使用するコンピューターそのものを管理するためのソフトウェア）により、顧客が所有する情報システムに関する資源を有効に活用する提案活動を推進し、大きく受注を伸ばすことができました。

その結果として、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が15,655百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益は1,010百万円（同15.9%増）、経常利益は1,133百万円（同19.4%増）、四半期純利益は718百万円（同28.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

P L M事業につきましては、製造業を中心とした得意先企業への積極的な販売努力及び大規模なH P Cシステムの受注などにより、外部顧客への売上高が15,081百万円（前年同四半期比14.1%増）、セグメント利益は1,084百万円（同18.0%増）となりました。

連結子会社である㈱ジーダットが中心となって行うE D A事業につきましては、主要顧客である国内の半導体及び液晶関連企業の設備投資縮小の影響を受け、E D A製品の販売、サービスともに伸ばすことができず、外部顧客への売上高が573百万円（前年同四半期比15.4%減）、セグメント損失は74百万円（前年同四半期のセグメント損失は38百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ477百万円増加し、23,616百万円となりました。

## (資産)

流動資産は、現金及び預金が1,083百万円増加、受取手形及び売掛金が206百万円増加、商品が599百万円減少、仕掛品が75百万円減少、その他が189百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比424百万円増の16,515百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が2百万円増加、無形固定資産が10百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が16百万円増加、その他が45百万円増加したことにより、前連結会計年度末比53百万円増の7,101百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、買掛金が20百万円増加、短期借入金が200百万円増加、未払法人税等が180百万円減少、賞与引当金が45百万円減少、役員賞与引当金が25百万円減少、その他が240百万円増加したことにより、前連結会計年度末比209百万円増の6,700百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が55百万円増加、その他が14百万円減少し、前連結会計年度末比40百万円増の1,385百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比250百万円増の8,085百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、利益剰余金が220百万円増加、その他有価証券評価差額金が25百万円増加、少数株主持分が18百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比227百万円増の15,531百万円となりました。

②キャッシュ・フローについて

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により得られた資金1,340百万円、投資活動により得られた資金48百万円、財務活動により使用した資金305百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ1,083百万円増加(14.8%増)し、8,380百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて1,075百万円増加(406.6%増)し、1,340百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,133百万円、減価償却費51百万円、退職給付引当金の増加額55百万円、たな卸資産の減少額676百万円、前受金の増加額228百万円、利息及び配当金の受取額48百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額45百万円、売上債権の増加額206百万円、法人税等の支払額603百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて199百万円減少(80.3%減)し、48百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,040百万円、有価証券の償還による収入100百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,040百万円、有形固定資産の取得による支出46百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べて206百万円減少し(40.3%減)、305百万円となりました。

収入は短期借入れによる収入200百万円であり、支出は配当金の支払額498百万円、少数株主への配当金の支払額7百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は前年同四半期に比べ好調に推移いたしました。当社の主要顧客である製造業各社における今後のIT関連投資は不透明な部分が多いため、平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,337,487	9,420,941
受取手形及び売掛金	6,163,159	6,369,182
商品	728,553	129,523
仕掛品	134,586	59,150
原材料及び貯蔵品	9,499	7,875
その他	719,242	529,284
貸倒引当金	△1,500	△700
流動資産合計	16,091,028	16,515,256
固定資産		
有形固定資産	329,355	331,526
無形固定資産	45,843	35,080
投資その他の資産		
投資有価証券	3,224,292	3,240,894
長期預金	2,700,000	2,700,000
その他	748,452	794,160
投資その他の資産合計	6,672,744	6,735,055
固定資産合計	7,047,942	7,101,661
資産合計	23,138,970	23,616,918
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,947,544	3,967,982
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	582,898	402,201
賞与引当金	417,878	372,580
役員賞与引当金	50,000	25,000
その他	1,492,644	1,732,903
流動負債合計	6,490,966	6,700,668
固定負債		
退職給付引当金	1,057,543	1,112,834
その他	287,090	272,173
固定負債合計	1,344,634	1,385,007
負債合計	7,835,600	8,085,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,718	1,337,718
資本剰余金	1,445,118	1,445,118
利益剰余金	11,681,427	11,901,984
自己株式	△598,333	△598,333
株主資本合計	13,865,930	14,086,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,595	173,061
為替換算調整勘定	△27,620	△25,555
その他の包括利益累計額合計	119,974	147,506
新株予約権	242,501	240,981
少数株主持分	1,074,963	1,056,267
純資産合計	15,303,370	15,531,242
負債純資産合計	23,138,970	23,616,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,894,583	15,655,273
売上原価	10,703,555	12,249,294
売上総利益	3,191,027	3,405,979
販売費及び一般管理費合計	2,318,936	2,395,563
営業利益	872,090	1,010,415
営業外収益		
受取利息	28,427	26,778
受取配当金	25,281	22,999
補助金収入	12,522	46,851
その他	14,449	29,408
営業外収益合計	80,680	126,037
営業外費用		
支払利息	—	588
減価償却費	1,242	1,209
為替差損	1,436	—
その他	393	669
営業外費用合計	3,072	2,467
経常利益	949,698	1,133,985
税金等調整前四半期純利益	949,698	1,133,985
法人税、住民税及び事業税	399,592	421,067
法人税等調整額	△5,277	5,982
法人税等合計	394,315	427,049
少数株主損益調整前四半期純利益	555,382	706,935
少数株主損失(△)	△2,125	△11,313
四半期純利益	557,508	718,249



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	555,382	706,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,072	25,466
為替換算調整勘定	2,479	166
持分法適用会社に対する持分相当額	1,018	1,694
その他の包括利益合計	124,570	27,326
四半期包括利益	679,952	734,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	681,176	745,781
少数株主に係る四半期包括利益	△1,223	△11,518

(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,796,293	8,014,165
売上原価	5,248,177	6,208,775
売上総利益	1,548,116	1,805,390
販売費及び一般管理費合計	1,195,375	1,186,956
営業利益	352,741	618,434
営業外収益		
受取利息	12,423	12,859
持分法による投資利益	15,039	9,396
補助金収入	8,632	27,344
その他	7,588	9,634
営業外収益合計	43,683	59,235
営業外費用		
支払利息	—	588
減価償却費	578	647
固定資産売却損	—	310
為替差損	1,083	—
その他	374	1
営業外費用合計	2,036	1,547
経常利益	394,388	676,121
税金等調整前四半期純利益	394,388	676,121
法人税、住民税及び事業税	136,161	216,981
法人税等調整額	27,421	28,782
法人税等合計	163,583	245,764
少数株主損益調整前四半期純利益	230,804	430,357
少数株主利益	3,448	3,648
四半期純利益	227,355	426,709

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	230,804	430,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,124	176,531
為替換算調整勘定	△2,775	△6,911
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,414	4,266
その他の包括利益合計	△43,314	173,886
四半期包括利益	187,489	604,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,309	603,466
少数株主に係る四半期包括利益	2,180	776

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	949,698	1,133,985
減価償却費	89,468	51,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,850	△45,298
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	△25,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,196	55,290
受取利息及び受取配当金	△53,708	△49,777
持分法による投資損益(△は益)	△12,980	△22,283
売上債権の増減額(△は増加)	△139,616	△206,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	158,026	676,090
前渡金の増減額(△は増加)	△9,544	32,885
その他の流動資産の増減額(△は増加)	18,893	△19,039
仕入債務の増減額(△は減少)	△181,217	20,437
前受金の増減額(△は減少)	△85,163	228,246
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,996	25,804
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△12,641	△8,250
その他	△22,285	46,938
小計	675,271	1,895,802
利息及び配当金の受取額	55,138	48,207
利息の支払額	—	△588
法人税等の支払額	△465,871	△603,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,538	1,340,184
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,040,000	△1,040,000
定期預金の払戻による収入	1,940,000	1,040,000
長期預金の預入による支出	△600,000	—
有価証券の償還による収入	—	100,000
差入保証金の差入による支出	△19,939	△2,612
有形固定資産の取得による支出	△12,107	△46,837
無形固定資産の取得による支出	△12,240	△276
投資有価証券の取得による支出	△15,750	—
その他	7,847	△1,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	247,809	48,732

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
配当金の支払額	△498,505	△498,427
少数株主への配当金の支払額	△13,618	△7,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512,123	△305,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,621	141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,846	1,083,454
現金及び現金同等物の期首残高	7,101,360	7,297,487
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,833	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,107,039	8,380,941

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。